國司 光文 議員

▲千代田大橋

Q 千代田大橋のヒビ割れ陥没は

A 遅くても年度内に修繕作業を行う

Q 千代田大橋のヒビ割れ、陥没について、どうなっているのか伺う。

A 土木部長 構造的なヒビ割れではなく、材料収縮に起因するものであると考えられます。対処方法としては、歩道部のヒビ割れ箇所について、幅15cm程度の調整コンクリートを撤去して、中央に目地板設置を行い、無収縮のモルタルを充填して、舗装部分を復旧することにより、雨水の進入を防ぎたいと考えています。なお、これらの修繕作業は年内、遅くとも年度内には終了したいと考えます。

Q 庁内全職員が高い意識を持ち続けるために、市長はどのような方法で監督・指導していくのか伺う。

A 市長 行政においても民間にならう意識改革が重要であると考えています。このような考え方を踏まえ、行政改革を、全庁を挙げての取り組みとするために、各部課の横断的な組織体制として設置している、行政改革推進本部から、全職員に対し指示・啓発を行いながら意識の統一を図ってまいります。

圓城寺正道 議員

Q 公共下水道・農業集落排水等への加入状況は

A 合せて供用開始戸数が一一，五一三戸である

Q 現在に至るまでの下水道事業への繰出金はどのくらいか。また、公共下水道、農業集落排水等への加入状況について伺う。

A 土木部長 一般会計からの繰出金は、平成17年度末現在で一二〇億五，六五六万六千円となっています。一般会計の財政事情も大変厳しい状況であることから全体計画の検討・工事費、維持管理費等のコスト削減を図り、財源の確保に努めていきたいと考えています。また、公共下水道、農業集落排水を合せまして供用開始戸数が一一，五一三戸、この内水洗化戸数が九，四五七戸となっており、水洗化率は、82.1％であります。更に、加入の促進については、供用開始区域の方々を対象に、戸別訪問やチラシ等の配布により周知、啓発を行い推進しています。

Q 一般職員の定数削減をいつ頃までに削減するのか伺う。

A 総務部長 定員適正化計画の中での数値目標は、平成22年4月1日現在の前期計画では4.8％減の26人、520人を目標としています。また、10年計画、平成26年4月1日現在の職員数は、10.8％減で59人を減し、487人を目標としています。

▲下水道マンホール設置

質問事項

1.市長の政治姿勢について
　(1) 行政改革について
2.行政改革大綱について
　(1) 集中改革プランについて
3.千代田大橋について
　(1) ヒビ割れ，陥没について

質問事項

1.行政改革について
　(1) 599名いる職員の定数削減について
　(2) 職員の採用について
2.土木行政について
　(1) 下水道の繰出金について
　(2) 下水道の加入状況について
3.環境行政について
　(1) 他県からの産業廃棄物の搬入について
4.農業行政について
　(1) ポジティブリストについて

山内庄兵衛 議員

▲百里基地

Q 米軍の百里基地への訓練移転に伴う騒音対策は

A 騒音対策区域の拡大等について国へ求める

Q 米軍の百里基地への訓練移転について騒音対策と防衛庁、県との協議をしているのか伺う。

A 市長　在日米軍の訓練移転の内容については、防衛施設庁東京防衛施設局に説明を求め、8月9日に私も同席の上、日米安全保障協議委員会の最終報告に基づく情報提供をいただいています。市としても、移転訓練により騒音が増大する場合には、より一層の生活環境の整備が図られるよう、騒音対策区域の拡大、各種騒音対策事業の実施及び市民に与える騒音の影響を可能な限り軽減するよう国に対して求めてまいりたいと考えています。

Q 降雹被害対策について伺う。

A 環境経済部長　4月21日と25日に降雹があり、梨への被害が確認されています。特に21日の降雹については、当日、農業改良普及センター職員と調査したところ、霞ヶ浦地区内に被害が多く見られ、下大津地区の一部の被害が最も大きいと認められました。この時期は、梨の開花期に当たり、具体的な被害の状況が判断できないことから、5月11日に、市、農業改良普及センター及びJA土浦職員により現地調査を実施し、被害の状況を県に報告しています。被害の面積については、霞ヶ浦地区の栽培面積の46haのうち、36.7haに被害が認められました。

質問事項

1.米軍の百里基地への訓練移転問題について
　(1)騒音対策について　(2)事故対策について
　(3)防衛庁との協議について
2.土木行政について
　(1)特例債の振り分けた跨線橋について
　(2)市内にある県道の整備の遅れについて
　(3)団地内の生活道整備について　(4)雪入砂防ダムについて
　(5)霞ヶ浦対策について　(6)五輪堂橋の整備について
3.農村漁業行政について
　(1)降雹対策について　(2)ナマズの加工について
　(3)レン魚とソウ魚について　(4)柿岡の地磁気観測所について
　(5)日照不足・長雨について

中根 光男 議員

Q 小学校の英語必修化の今後の具体的な計画は

A 生きた英語に触れる機会の拡充をする

Q 小学校の英語必修化への認識と今後の具体的計画案について伺う。

A 教育部長　文部科学省でも、英語が使える日本人の育成のための行動計画を策定し、その中で、小学生の英語指導について方針が示されています。ますます国際化が進む中、英語能力の向上が必要不可欠な条件のひとつと認識していますので、現在、取り組んでいるALTの活用や今後の国の制度改正などに準拠して、生きた英語に触れる機会拡充など、さらなる英語教育の強化に努めてまいりたいと考えています。

Q かすみがうら市の公用車の台数と管理状況について伺う。

A 総務部長　市が管理している公用車の台数は183台となっています。内訳を申しますと、一般公用車が101台、保育所用バスが6台、福祉バスが2台、消防署関係が74台となっています。管理については、それぞれの部署で管理するものと集中管理するものとに区別をしています。集中管理するものは、霞ヶ浦庁舎が34台、千代田庁舎分が19台あります。今後は、効率的な利用と安全の確保を考えながら管理の適正化に努めてまいります。

▲ALTの授業のようす

質問事項

1.行政経費削減について
　(1)有料広告ビジネスについて
　(2)公用車の集中管理について
2.福祉のまちづくり推進について
　(1)新バリアフリー法の具体的な推進について
3.教育行政について
　(1)小学校英語必修化について
4.児童，生徒の安全対策について
　(1)子供を守る自動体外式除細動器（AED）の設置と認識について
5.随意契約について
　(1)契約の内容（行政全般）について
6.農業行政について
　(1)イノシシ等有害駆除について

佐藤 文雄 議員

▲下稲吉小学校

Q 市長逮捕の事実認識と市政の透明化の取り組みは

A 大変遺憾で残念。再発防止に最善を尽くす

Q 前市政について市長は「入札や職員採用で私的に動くことがあったと思う」などと批判し、「市政の透明化に取り組み、信頼を取り戻したい」との報道があるが、今回の前市長逮捕に関わっての事実認識と今後の市政の透明化の取り組み等について伺う。

A 市長 市長逮捕については、大変遺憾であります。この事件がトップの逮捕と、司法に委ねられたことを重く受け止め、私の立場からは再発防止に最善を尽くすことだと認識しています。これからの行政運営においては、特に入札制度や職員採用などは、関係者に利害が出やすいので、公平、公開を軸に制度の改革を図ります。このため、チェック機関、監視体制、監視機能の強化に努めてまいります。

Q 学校施設の耐震調査計画策は考えているのか伺う。

A 教育部長 児童生徒の安全対策を最優先に考え、早急に、耐震調査や耐震化を進めたいと考えています。当面の措置として、計画的に進めるための耐震化優先度調査に取り組みたいと考えています。

質問事項

1.新市長の公約等について
(1)市政の透明化の取組みについて (2)行政経営について (3)交通アクセス基盤整備による一体化について
(4)市の体制（特別職等）の刷新について (5)行政組織改革とサービス向上の推進について
2.入札制度の改善について
(1)市長が考える入札制度の改革について (2)入札における指名業者選定と落札率の関連について
(3)随意契約のあり方について (4)競争性の確保について
3.教育行政について
(1)通知表の「愛国心評価」について (2)学校施設の耐震調査について (3)専任司書配置について
4.国民健康保険について
(1)国保税の不均等課税について (2)高額療養費還付金支払について
5.向原土地区画整理事業について
(1)保留地販売について (2)仮換地の販売と物納について (3)債務負担行為の執行について
6.水道事業について
(1)県との契約水量について (2)水道事業における人口計画について (3)水道料金・基本水量の見直しについて
7.住み良いまちづくりについて
(1)百里基地への米軍F15訓練移転について (2)ゴミ収集カレンダーの作成について (3)防犯パトロールについて

大久保 恭 議員

Q 6号石岡バイパス千代田地区の見通しは

A 市川地内から東大橋の進捗による

Q 6号石岡バイパスの千代田地区の完了年度の見通しについて伺う。

A 土木部長 現在、事業化をしている区間、市川地内から東大橋5.8kmですが、これを18年度、19年度に用地買収に主眼をおいて進めており、その進捗によって、完了年度を見込むものと考えています。この事業化区間が完了しますと、千代田地区、いわゆる、市川地内から中貫方面、8.5kmについて、事業化が見込まれるものと思っています。

Q 水道事業の中で石綿セメント管がどのくらい残っているか伺う。

A 水道課長 以前から年次的に布設替を実施して、現在、9割以上の布設替が済んでいます。残量として耐用年数が過ぎている管は、霞ヶ浦地区が約二、五〇〇m、千代田地区が約二、三〇〇mあります。耐用年数が過ぎていない石綿セメント管は、配水管に使われている部分が、約三、五〇〇m、導水管に使われている部分が三、一〇〇mあります。これらの管についても、年次的に布設替を進めていく予定です。石綿管の取り扱いについては、国、県等の指導を受けながら、その対応に当ってまいりたいと考えています。

▲国道６号（西野寺付近）

質問事項

1.行政全般について
(1) 行政全般について
2.土木行政について
(1) 道路関係について
3.水道行政について
(1) 水道事業について
4.庁舎建設について
(1) 霞ヶ浦庁舎について